

エコアクション21
2024年度 環境経営レポート
対象期間：第31期(2024年10月～2025年9月)

発行日：2025年11月1日



株式会社 **トラス**

兵庫県姫路市中地南町34番地 宝成ビル1階

(目 次)

1. 組織の概要と対象範囲 (p.3)
2. 環境経営方針 (p.4)
3. エコアクション21環境経営システム実施体制図と主な役割・責任・権限 (p.5)
4. 環境経営目標とその実績 (p.6)
5. 環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容 (p.7)
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無 (p.8)
7. 環境上の緊急事態訓練結果報告書 (p.9)
8. 代表者による全体評価と見直し・指示 (p.10)
9. その他 (p.10)

1. 組織の概要と対象範囲

(1) 事業所名 株式会社 トラスト
代表者氏名 代表取締役社長 犬賀 直樹

(2) 事業所及び所在地
(所在地) 本社：兵庫県姫路市中地南町34番地 宝成ビル1階
(平成22年3月に現住所に移転)
資材倉庫：兵庫県姫路市飾磨区上野田4丁目114

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
(環境管理責任者) 代表取締役社長 犬賀 直樹
(担当者) 総務・経理部 川崎 彩乃
TEL 079-243-0222
FAX 079-243-0567
MAIL trus-10@chive.ocn.ne.jp

(4) 事業内容
・管工事業・空調設備工事業・土木工事業・消防設備工事業・ガス配管工事業
・貯水槽清掃工事業・設備メンテナンス工事業

(5) 事業規模

活動規模	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高(千円)	652,178	649,159	544,190	934,342	1,053,149
従業員(本社)(人)	12	15	16	16	15
床面積(本社)(㎡)	408	408	408	408	408
床面積(資材倉庫)(㎡)	33.35	33.35	33.35	33.35	33.35

※資材倉庫で勤務する従業員はなく、全ての業務は本社で一括して管理している

(6) 主な環境負荷の状況

環境負荷項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量 kg-CO2	41,280.75	41,280.75	32,283.00	36,882.38	32,493.46
産業廃棄物排出量 t	18	18	15	8.83	29.67
水使用量 ㎡	60	70	72	59	40

(7) 請負工事件数(2024年10月～2025年9月)

元請工事 302 件
下請工事 146 件

(8) 事業年度：(第31期 2024年10月～2025年9月)

(9) 認証・登録の対象範囲 ※ 対象範囲は全組織全活動とする

登録組織名：株式会社 トラスト
対象事業所：本社、資材倉庫
活動：管工事業(空調衛生設備工事)

2. 環境経営方針

(1) 環境経営理念

当社は、社是であるトラスト(trust;信頼)の理念に基づき、環境保全の必要性及び重要性を社員一人ひとりが認識し、環境経営の継続的改善に努めます。

(2) 活動指針

管工事業（空調衛生設備業）における環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。

- 1)環境関連法規制等(及び社内ルール)を順守します。
- 2)エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、汚染の予防と継続的改善に努めます。
- 3)環境負荷を削減するために次の活動に取り組みます。
 - ①地球温暖化防止のため、二酸化炭素排出量削減
(電力使用量の削減・自動車燃費の向上)をします。
 - ②水使用量の削減をします。
 - ③紙資源の節約(コピー用紙使用量の削減)に努めます。
 - ④廃棄物排出量削減(産廃・一般,リサイクルの推進)に努めます。
- 4)全ての建設現場において環境への取り組みを自己チェックし、環境負荷を低減します。
- 5)若手社員の育成に努めます。

(3) この環境経営方針は全従業員に周知するとともに社会にも公表します。

2010年05月31日制定

2019年09月20日改定

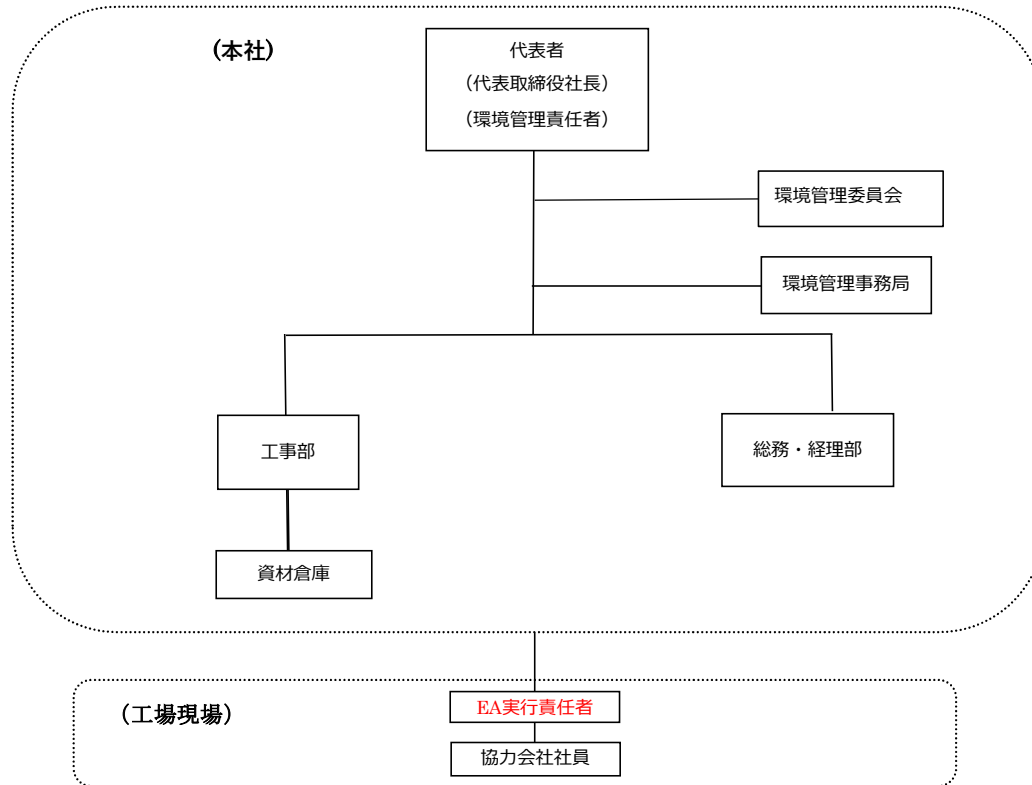
株式会社 ト ラ ス ト

代表取締役社長

犬賀 直樹

3. エコアクション21環境経営システム実施体制

(1) EA21実施体制図 環境経営システム実施体制図



(2) 主な役割・責任・権限

代表者

- ①環境経営方針の制定と周知及び評価と見直し
- ②環境経営に関する統括責任
- ③環境経営目標・環境経営計画書・環境経営レポートの承認
- ④システムの運用・維持の為の経営資源を投入する
- ⑤経営における課題とチャンスの明確化
- ⑥環境管理責任者を任命
- ⑦環境経営目標・環境経営計画書を承認
- ⑧代表者による全体の評価と見直し・指示を実施

環境管理責任者

- ①環境経営システムの構築と運用
- ②外部からの苦情などの受付と対応
- ③年度緊急訓練計画の立案と実施

環境管理委員会

- ①環境経営目標及び年間計画の検討
- ②環境問題の改善策の検討

環境管理事務局

- ①環境活動情報のまとめ、課題の整理
- ②環境活動委員会検討内容の整理
- ③環境文書及び記録などの管理の元締め
- ④環境経営レポートの作成

各部門

- ①年度環境経営目標の展開と報告
- ②関連法規の遵守

(EA実行責任者)

- ① 工事現場における環境配慮施工管理
- ② 環境への取組を自己チェックし、環境負荷を低減する

4. 環境経営目標とその実績

当社の主な経営目標とその実績は次の通りです。

項目		目標・実績		2021年	2022年	2023年 基準年度	2024年度			2025年	2026年	2027年
				2021.10~ 2022.9	2022.10~ 2023.9	2023.10~ 2024.9	2024.10~2025.9			2025.10~ 2026.9	2026.10~ 2027.9	2027.10~ 2028.9
				実績	実績	実績	目標	実績	達成率	目標	目標	目標
CO2総排出量 (事務所+建設現場)資材倉庫含む		kg-CO2	39,831	32,282	36,882	36,566	32,638.64	111%	36,513	36,476	36,439	
電力	使用量	kWh	19,073	18,785	18,533.8	18,515	20,740	87%	18,348.5	18,330	18,311	
	削減率(基準年度比)	%	-	-	-	0.1	-12	-	1.0	1.1	1.2	
	CO2排出量	kg-CO2	6,065	5,974	5,894	5,888	6,595	88%	5,835	5,829	5,823	
ガソリン	自動車燃費の向上	km/L	18.23	17.52	16.84	17.00	13.99	82%	17.00	17.02	17.04	
	燃費向上率(基準年度比)	%	-	-	-	1	0.83	-	1.0	1.1	1.2	
	自動車燃料使用量	L	14,554	11,413	13,357	13,223	11,226	115%	13,223	13,210	13,197	
	CO2排出量	kg-CO2	33,765	26,478	30,989	30,678	26,043	115%	30,678	30,647	30,616	
廃棄物	産業廃棄物の排出量	t	18	15	9	14	29.67	12%	14	14	14	
	産業廃棄物の分別の徹底度	%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	一般廃棄物の排出量	t	0.331	0.386	0.182	0.182	0.118	135%	0.181	0.180	0.179	
	一般廃棄物の分別の徹底度	%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	建設リサイクル率の向上	%	100	100	100	100	75	75%	100	100	100	
紙資源	コピー用紙	コピー用紙使用量(事業所)	枚	60,000	59,000	35,000	34,650	38,000	90%	34,650	34,300	33,950
		削減率(基準年度比)	%	-	-	-	1	-9	8.57%	1	2	3
上水		水使用量(事務所)	m ³	70	72	59	72	40	144%	60	60	60
環境負荷	建設現場での環境負荷低減	目標	%	100	100	100	100	100	100%	100	100	100
人材育成		若手社員の育成	%	-	-	100	100	100	100%	100	100	100

(注1)産業廃棄物は、元請企業様の排出基準に従って分別し、元請企業様から廃棄処理をして頂いています。

(注2)廃棄物、環境負荷に示す%表示は「環境経営目標及び環境経営計画と進捗管理表」に基づいています。

(注3)基準年度の産廃の排出量は年間9t程であり、排出量削減活動をする事とし、活動は分別を主とします。

(注4)CO2排出係数は、0.318kg-CO2/kWh（関西電力㈱2019年度実績）を使用しています。

(注5)
$$\text{目標達成率} = \frac{\text{目標値} + (\text{目標値} - \text{実績値})}{\text{目標値}} \times 100$$

(注6)化学物質の使用はありません。

5. 環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容

当社の主な環境経営計画とその評価・次年度の取組内容は次の通りです。

区分	取組	主な取組	取組評価の結果	次年度の取組内容
電力使用量の削減	事務所	①外気や状況に応じて適切な温度管理の徹底 ②空調機のフィルター清掃 ③冷暖房時はブラインドを降ろし窓を開める ④部分消灯の活用 ⑤昼食時・不在時の消灯 ⑥節電シールの貼付	△未達成 取組：主な取組に挙げている、冷暖房の設定温度を徹底、昼休憩や外出時の消灯、部分照明の活用、パソコン・プリンター等は不使用時は電源を落とす、ということが周知徹底・実践できた。 しかし、猛暑や厳寒の影響で冷暖房の稼働時間が多くなったため、目標100%とはならなかった。	引き続き節電への意識を持ち続けて業務にあたるよう、努める。
ガソリン車の燃費向上	建設現場・事務所	社内全車両で燃費向上に取り組む ①急発進・急ブレーキの禁止 ②社用車の定期点検の実施 ③同じ現場へ行く際は乗り合わせるなどガソリン使用量削減に努める	△未達成 取組：運転日報の記入とエコドライブの継続を行ったが、工事にかかる移動回数が増えたためガソリン車の燃費向上は未達成となった。	引き続き運転日報をつけ、エコドライブを心がける。
廃棄物分別の徹底	産業廃棄物(建設現場)	①姫路市の分別基準に従って分別し保管場所に掲示する ②月1回以上実施状況確認 ③マニフェスト管理の徹底	×未達成 取組：全社員が元請企業様の排出基準に従って分別を行っていたが、分別を周知徹底し意識づけすることができていなかったため、廃棄物分別徹底度は未達成となった。	引き続き、社員全員が分別を徹底するよう努める。
	一般廃棄物(事務所)	①姫路市の分別基準に従って分別 ②月1回以上実施状況確認	○達成 取組：全社員が姫路市の分別基準に従って分別を行い、一般廃棄物分別徹底度は目標達成した。	引き続き、社員全員が分別を徹底するよう努める。
	建設リサイクル率の向上	①マニフェストの即時起票 ②リサイクル可能物の分別破棄	×未達成 取組：マニフェストによる適正処理を行ったが、リサイクル可能物の分別破棄の意識づけができていなかったため、建設リサイクル率は未達成となった。	引き続き、社員全員がリサイクルを徹底するよう努める。
コピー用紙使用量の削減	事務所	①コピー用紙の両面刷り ②コピー用紙の裏面利用 ③コピー対象物・枚数の確認 ④注意事項の貼付	○達成 取組：両面刷りや裏紙使用を行い、使用量削減するよう周知徹底させた。	引き続き、取組み項目を意識しながら業務にあたるよう、社員全員へ周知徹底する。また、紙媒体での保存を極力避け、電子媒体による保存を検討する。
水使用量の削減	事務所	①節水シールの貼付 ②水の出しっぱなし禁止 ③洗剤の過量使用	○達成 取組：継続した取り組みを実施し節水に努め、目標を達成することができた。	引き続き、基本料金内(1ヶ月6㎡以内)を超えないように努める。
建設現場環境負荷低減	建設現場	①工事現場周辺の清掃徹底 ②現場に入出入りする際アイドリングストップを行う ③現場周辺から苦情があれば即時処理する	○達成 常に心掛けて業務にあたる。	引き続き実施していく。
課題とチャンス	建設現場・事務所	①報告・連絡・相談の徹底 ②安全管理の徹底 ③若手社員の育成	○達成 常に心掛けて業務にあたる。	引き続き実施していく。

○：達成(100%以上～90%)

△：未達成(90%未満～80%)

×：未達成(達成率80%未満)

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟の有無

(1) 主要な環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規及び条例	遵守すべき要求事項	遵守評価
1. 廃棄物処理法	・一般廃棄物の収集・運搬業者の許可の確認 ・産廃収集・運搬及び処分業者の許可の確認と契約書の締結 ・マニフェストの交付と管理及び交付状況の報告	遵守
2. 建設リサイクル法	・特定建設資材の再資源化 ・特定建設資材の再生資源の利用量の把握等による 計画の作成と実施の記録の保存	遵守
3. 騒音規制法	・特定建設作業の届出、騒音の規制基準の遵守	遵守
4. 振動規制法	・特定建設作業の届出、振動の規制基準の遵守	遵守
5. 家電リサイクル法	・リサイクル及びリユースを確実にを行う業者への処理委託	遵守
6. 自動車リサイクル法	・引取業者への引渡し	遵守
7. 姫路市公害防止条例	・可能な限り自動車での不要不急な外出を控える	遵守
8. 消防法	・消火器の点検	遵守

(2) ①違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。

環境関連法規の遵守状況については、定期的(原則11月末)に

「環境関連法規制の取りまとめ・遵守チェックリスト」を基に遵守評価を行っています。

今年度は2025年11月1日に実施し、その結果は遵守されており、問題はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反等はどの指摘も過去3年間ありません。

②外部からの苦情等の受付結果

2024年度については、外部からの苦情はありませんでした。

7. 環境上の緊急事態訓練結果報告書

報告書の区分	<input type="checkbox"/> 緊急事態の発生後	<input type="checkbox"/> テスト結果	<input checked="" type="checkbox"/> 訓練結果
報告作成者	業務部長 : 山本 達也		
実施日又は 緊急事態発生日	2024年 12月 20日		
参加者	現場観察及び最高責任者 : 犬賀直樹 初期消火及び防火管理者 : 山本達也・有田光利・原田 徹・河内進博 搬出班 : 池田憲二・濱田克彦・池田宇宙・梶川千尋・山本章博 通報連絡班 : 西垣佳世 以上11名		
実施内容	<訓練想定と実施内容> 事務所内の倉庫付近より出火を想定。 初期消火等の緊急事態発生による対応の模擬テストを実施した。 <予防策の確認> ① 緊急事態の想定結果及び緊急事態対応手順書(火災) 消防設備(消火器(含有効期限確認)、火災報知器、非常ベル、消火栓、非常灯)は 2024年11月25日に点検されており、消防署にも届出済。 ② 初期消火のための消火器の位置・数量を確認。(事務所内玄関1本・ロビー1本)有効期限: 2034年3月末日 ③ 緊急事態対応手順書の変更の必要は無し。 <緩和策> 発見者による通報、事務所にいる社員による初期消火、警報の発報、業務への連絡と消防への 通報(仮定)など、関係者の行動を確認した。 今回は日常 事務所在中社員4名で初期消火と通報連絡と火災が大きくなったと仮定して の避難に重点を置き、下記の確認を行った。 持出物: 顧客との契約書類、自治体・住民との協定書、経理関係(通帳、印鑑等)、 電子入札カード、会社のデータ(バックアップ用機器3台) けが人が1名・軽傷とした場合の搬出準備		
連絡網の確認	緊急事態では、必ずしも自衛消防隊編成表のように役割が決められている人が現場に居合わせ ているわけではなく、近くにいる従業員が如何に機敏に、自分の役割を判断して行動できるか がポイントになる。 初期消火が最も重要であるが、同時に消防局への通報のスピードも大事であり、その点に 留意した。		
予防・緩和手順 変更の必要性について	持出物、持ち出す際の方法は、緊急時に迅速に行動できるよう、イメージしておく。		

< 火災報知器 : 会議室内 >



< 消火器 : 事務所入口 >



8. 代表者による全体評価と見直し・指示

2025年11月1日
代表取締役社長 犬賀 直樹

エコアクション21の認証・登録のため、進めてきた活動の対象期間(2024年10月～2025年9月)について、代表者による全体評価と見直しを2025年11月1日に実施しました。

(1) 総括

2024年度は工事にかかる移動量増加に伴いガソリン車の燃費向上は未達成となった。
また、猛暑や厳寒の影響で冷暖房の稼働時間が多くなったため電力使用量の削減も未達成となった。
コピー用紙使用量の削減及び水使用量の削減は使用量削減するよう周知徹底したため達成した。
取組内容をより具体化させ、効率的な展開を図る。

(2) 見直し結果

見直し結果	変更の必要性の有無及び指示事項
1. 環境経営方針	現方針を浸透させ、継続する。
2. 環境経営目標	目標項目の変更の必要性はない。 電力使用量、ガソリン及びコピー用紙使用量削減、建設リサイクル率の向上に重点を置いて継続する。
3. 環境経営計画	取組内容をより具体化させ、効率的な展開を図る。
4. 実施体制	体制の変更の必要はなし。

9. その他

環境経営レポートについて

- ・ エコアクション21建設業者向けガイドライン2017年版に基づいています。